

〔様式1〕 平成17年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成17年4月22日		記入者	内線	5617
部名	保健所	課名	地域保健課	課長名	宮崎達夫
事務事業名	献血推進事業				
予算上の事務事業名	献血推進事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		12310		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第2章 生涯にわたる健康づくりを進めます				
基本施策名	第3節 市民医療の充実				事業開始年度
施策名	第1施策 地域医療体制の充実				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律					
3 個別計画の概要			概要		
計画名	なし				
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分		啓発・広報・イベント ▼			
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
医療に必要な血液を献血により確保するため、献血思想の普及を図り、もって地域住民の健康と福祉に寄与する。			16～69歳の健康な方(ただし65～69歳の人は60～64歳の間に献血経験が必要)		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
企業・各種団体(市内ライオンズクラブ等)の協力のもと献血車を配車し、血液供給体制の確保を図った。16年度は目標献血量2,729リットルに対し1,727.8リットルの協力があった。					
総事業費 1,373千円 需用費 1,373千円					
6 関連・類似事業や他市の状況					
他自治体も同様の目的で実施している。献血実施回数は人口や事業所数によって異なっている。					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	1,496	1,282	1,373	1,401	1,401
一般財源	1,496	1,282	683	1,401	1,401
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	690	0	0
人件費の合計	323	320	336	336	336
事業コスト合計(a)	1,819	1,602	1,709	1,737	1,737
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	献血推進事業			対象名称(単位)	献血協力者数(延べ)
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	1,819	1,602	1,709	1,401	1,401
対象数	4,616	4,801	4,498	5,657	5,657
単位あたり経費(円)	394	334	380	248	248
前年度比		0.85	1.14	0.65	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	献血協力者数（人）		指標式と指 標の説明	相模原市での献血協力者数/神奈川県から通知のあった目標献血 協力者数（17年度、18年度は17年度の目標協力者数）	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	4,616.0	4,801.0	4,498.0		
目標	7,809.0	7,236.0	6,988.0	5,657.0	5,657.0
目標達成度	59.1	66.3	64.4		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	採血量達成率（％）		指標式と指 標の説明	相模原市での献血車採血量/神奈川県から通知のあった 献血目標量×100	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	60.2	65.4	63.3		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度	60.2	65.4	63.3		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必要性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を享受している。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
有	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		市民に献血の重要性の周知を徹底するとともに事業所献血・街頭献血などの事業拡大を図る方策を民間活力も視野に入れ検討していく必要がある	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
相模原市の人口は年々増加しているため、市民の献血に対する関心を高めるとともに、新たな街頭献血場所の確保と、献血協力事業所の拡大が有効であると考えます。			少子化とともに若年層の献血率が少なくなっており、また近年の不況により市内の献血協力事業所が年々減っていることなどの理由から献血協力者が減少傾向にあり、より一層の啓発活動が必要である。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		民間活力の導入も含めた事業の実施方法を検討する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			